



©Natsuki Yasuda

## 高校生10名を招待

被災地の今を知り、  
復興や発展について考えよう

# フォトジャーナリスト 安田菜津紀と行く 東北スタディツアー

2014年  
8月20日~8月22日



〈プロフィール〉 安田 菜津紀

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE所属フォトジャーナリスト。

16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。2012年、「HIVと共に生まれる -ウガンダのエイズ孤児たち-」で第8回名取洋之助写真賞受賞。共著に『アジア×カメラ「正解」のない旅へ』（第三書館）、『ファインダー越しの3.11』（原書房）。上智大学卒。

東日本大震災から3年以上の月日が経ちました。「いつになったら悲しみは消えるだろう?」「いつになったら安心して暮らせる場所にたどりつけるだろう?」

声にならない想いがまだ、この街の中にたくさんうずまいているように思います。

けれども同時に、豊かな山海に育まれた宝物が少しずつ、人々の手で取り戻されようとしています。「こんなに美味しいものがここにあるって伝えてくれよ」と語る漁師さんの誇らしい顔にもまた、何度となくシャッターを切ってきました。

私たちは今、何を受け止め、向き合い続けるべきでしょうか?

陸前高田と一緒に、ここで出会う方々に学ばせて頂く時間となれば幸いです。

フォトジャーナリスト 安田菜津紀

# フォトジャーナリスト 安田菜津紀と行く東北スタディツアー

期 間 2014年8月20日～8月22日 二泊三日

定 員 10名

行 程

日時	内容	宿泊／食事
8月20日	午前：東京駅集合、新幹線・バスにて岩手県陸前高田市へ 午後：仮設住宅視察 住民の方々との交流	気仙沼泊 --/〇/〇
8月21日	午前：被災地語り部ガイドの案内で市内見学、復興活動視察など 午後：漁業見学、漁師体験など	気仙沼泊 〇/〇/〇
8月22日	午前：市街地見学、振返り 午後：バス・新幹線で東京へ、東京駅解散	〇/〇/-

(宿泊は男女別相部屋となります。訪問先が変更になる場合がございます。予めご了承ください)  
主な訪問、取材地は岩手県陸前高田市、宿泊は気仙沼市となります

募集条件

- 8月20日東京駅集合から、8月22日東京駅解散までの旅行代金(交通費、宿泊費、食費等)を全額無料とします。(集合地(東京駅)まで、および解散後の交通費、現地にかかる個人の諸費用は参加者負担)
- 取材に使用するカメラは、オリンパスイメージング(株)より無償で貸し出します。
- カメラの使用法、良い写真の撮り方や取材の進め方などは、8月20日のオリエンテーションの中で指導します。
- スタディツアー終了1ヶ月以内に1000文字以上のレポートと撮影した写真のセレクトを提出していただきます。

取材を通じて撮影した写真および提出いただいたレポートは、(株)スタディオアフタモード、オリンパス(株)およびオリンパスイメージング(株)のWEBサイトや刊行物に掲載することがあります。また、オリンパスプラザ東京(東京都千代田区小川町)他に掲示することがあります。



募集人数

高校生10名(日本在住者に限る、国籍不問。定時制、通信制、フリースクールなども含む)  
※年齢は18歳以下とさせていただきます

応募方法

締切日までに以下の書類を郵便または宅配便でご送付ください。

※FAX・電子メールでの応募受付はできません。  
※提出いただいた応募書類は返却いたしません。

- ① 「東日本大震災」について、自身の体験も踏まえて「復興」について感じる事、およびそれを踏まえて、なぜこのプログラムに参加しようと思ったかについて1000文字以上のレポート(形式は問いません)。
- ② 所定の応募用紙に記入し、写真を添付。  
(応募用紙は、<http://www.olympus.co.jp/jp/info/2014b/if140710eventj.jsp> からダウンロードしてください)

〈送り先〉〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス  
オリンパス株式会社 CSR推進部 スタディツアー担当窓口宛

応募期間

2014年7月10日から7月24日まで(当日消印または受付印有効)

結果発表

2014年7月29日  
(書類選考通過者のみ7月29日に電話またはメールにて10:00～17:30 にご連絡します)